

2016年7月11日

エヌ・ティ・ティ アイティ株式会社
東日本電信電話株式会社
エーザイ株式会社

NTT アイティ、NTT 東日本、エーザイによる 医療・介護における多職種連携事業の展開について

エヌ・ティ・ティ アイティ株式会社（神奈川県横浜市、代表取締役社長：長谷雅彦、以下「NTT アイティ」）、東日本電信電話株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：山村雅之、以下「NTT 東日本」）、およびエーザイ株式会社（東京都文京区、代表執行役CEO：内藤晴夫、以下「エーザイ」）は、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることを目指した「地域包括ケア」の実現に向けて、医療・介護における多職種連携事業を2016年7月11日（月）より本格的に展開いたします。

本展開にあたって、NTT アイティは、患者のケア目標や方針および日々の医療・介護・生活情報を、医療従事者、介護従事者とご家族が一体となって共有できるクラウド型多職種連携サービス「ひかりワンチームSP」^{※1}を提供し、NTT 東日本は、「フレッツ光ネクスト」や「ギガらくWi-Fi」など最適な通信サービスを提供するとともに、安心・安全を届ける地域医療への貢献をめざすエーザイは、ケア目標の設定や課題抽出について話し合う症例検討会のアレンジおよび解決事例の共有などの連携支援「ワンチームコーディネーション活動」に取り組んでまいります。

今後、本事業の展開により、患者の長期的な在宅療養をサポートすることが可能になり、医療・介護の水準向上や改善、患者のQOLや安心感の向上、社会保障費の負担軽減等に繋がると考えられます。

^{※1} 「ひかりワンチームSP」はNTT アイティが商標登録出願中です。

■ 背景

政府は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進しています。認知症や骨粗鬆症など生活機能の障害となる疾患を抱える高齢者の在宅療養を可能にするためには、在宅患者を支える医療従事者と介護従事者の連携が強く求められています。

在宅医療においては、医療従事者と介護従事者に加え、患者のご家族など、多職種の関係者が関わるため、多忙な日常業務の中での、迅速かつ的確な情報共有が課題となっていました。

このような背景のもと、NTT 東日本とエーザイは、品川区の多職種連携研究会「品川 Dementia ネットワーク研究会」の協力を得て、2014年5月から2015年1月の間、品川区の医師会と共同で、多職種の関係者によるICTパイロットシステムのトライアルを行いました。本トライアルにおいて、パイロットシステムを用いた患者のフォローアップを行うことにより、日常生活動作の向上および要介護度の改善が観察されるなどの事例が認められました。さらに、品川区を含む全国16ヶ所で行ったトライアルにおいても、パイロットシステムが在宅患者の課題の把握やその解決に有用であるという事例が認められ、多職種間における双方向の情報交換によるチームの一体感醸成につ

いても評価を得ています。これらの成果・ノウハウを生かして、2016年7月11日より多職種連携事業を展開することといたしました。

■ 各社の役割

<NTT アイティ>

これまでのトライアルのノウハウをベースに開発した多職種連携サービス「ひかりワンチームSP」を、サービス提供事業者として7月11日より販売開始します。

<NTT 東日本>

医療・介護事業者等に対し光アクセスサービス「フレッツ光ネクスト」、サポート付き簡単オフィスWi-Fiサービス「ギガらくWi-Fi」、モバイルデバイス一元管理サービス「スマートデバイスマネジメント」などの最適な通信サービス等を提供します。

<ユーザイ>

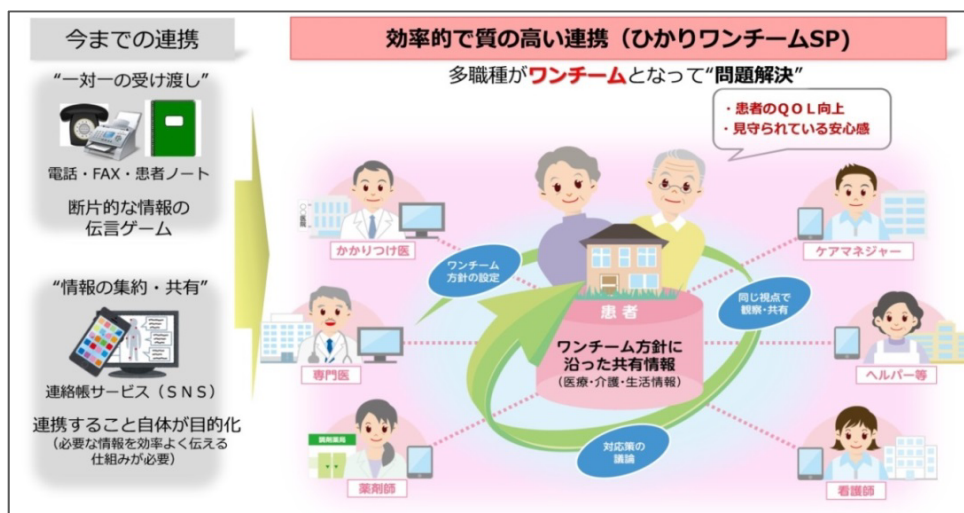
「まちづくり」支援活動等を通じて蓄積された多職種連携支援のノウハウを有し、「安心・安全を届ける地域医療」への貢献をめざすユーザイのワンチームコーディネーターが、本サービスの紹介、ケア目標や方針の設定や課題抽出について話し合う症例検討会のアレンジおよび解決事例の共有などの一体的な連携支援「ワンチームコーディネーション活動」を行います。

■ 「ひかりワンチームSP」の概要

(1) サービス概要

NTT アイティの提供する、医師・薬剤師・看護師・ケアマネジャー・ヘルパーなどの多職種間で、患者のケア情報を、簡単に情報発信・共有できるサービスです。多忙な日常業務の中で無理なく続けられる連携の仕組みとして、日々の運用はモニタリング項目のチェックと報告を中心としています。詳細情報は特記事項と連絡帳で報告共有できます。これにより、ケアに関わる医療・介護スタッフが、患者のケア方針を共有し同じ視点でケアに取り組むことができ、また情報が整理されているため、忙しくてもチェック負担が少なく重要な状態の変化の見逃し防止効果があります。

(2) サービスイメージ



(3) 特徴

特徴1：モニタリング機能

～患者ごとにチームで見守り、変化をいち早く見つけます

- ① 患者ごとのモニタリング項目を日々チェック。色分け表示により、忙しくてもひと目で変化を把握
- ② 認知症などに関する項目設定（服薬における注意事項、BPSD（行動・心理症状）等）
- ③ 日々のバイタル情報を自動で取り込み、チェック可能（2016年秋以降提供予定）

<画面イメージ（モニタリング項目の色分け表示）>

日時	報告者	服薬	副作用	身体・生活	バイタル・数値	認知機能	認知状況	対応策	その他1	その他2	医師確認	トリアージ
16/06/30 17:45	運用訪看 希藤節 (希藤節)	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊		運用訪看 希藤節
16/06/30 11:30	運用訪看 希藤節 (希藤節)	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊		運用訪看 希藤節
16/06/22 01:15	運用訪看 希藤節 (希藤節)	😊	😊	😊	😊	😊	😊				✓	確認
16/06/22 01:15	運用ホームヘルプヘルパー (ヘルパー)	😊	😊	😊	😊	😊	😊				✓	確認
16/06/22 01:10	運用ホームヘルプヘルパー (ヘルパー)	😞	😞	😞	😞	😞	😞				✓	確認

特徴2：ワンチーム支援機能

～多職種チームが一体となって患者をケアするための支援をします

- ① 各メンバーの日々の活動状況が分かり、モチベーションをUP
- ② チームで決めたケアの方針や対応策を常に表示・確認し、一体感のある質の高いケアを実現
- ③ ご家族もチームの一員として参加（家族連絡帳）、見守られている安心感を醸成

<画面イメージ（多職種チームによる日々の活動状況確認）>

運用訪看 希藤節(希藤節) 2016/06/30 17:52

【2016/06/30 17:52 モニタリング報告-連絡帳】

【連絡事項】:モニタリング情報から返信もう少し様子見しよう。
日中は機嫌が良いのでできるだけおこなって生活のリズムにメリハリが出るようにします。
◎ 運用医 院医(医師)、運用居宅介護支援ケアマネ(ケアマネージャー)の名が見えました。

運用居宅介護支援ケアマネ(ケアマネージャー) 2016/07/01 14:07

本日訪問しました。ご本人も日中は起きているよう気をつけておられました。引き続き様子見ます。
◎ 運用医 院医(医師)の名が見えました。

運用訪看 希藤節(希藤節) 2016/06/30 17:48

特徴3：高セキュリティ

～NTTグループの高い技術によりプライバシーを守ります

- ① 3省ガイドライン^{※2}に準拠。さらにクライアント認証による使用端末の限定、通信の暗号化による漏洩防止
- ② 高セキュリティなNTTグループのデータセンターで運用、国内複数拠点でのバックアップにより災害時も安心
- ③ 職種によるアクセス制限に加え、長期未使用のIDを自動でチェックし、不正ログインを防止
- ④ モバイル端末の紛失・盗難時には、遠隔ロック、リモートワイプなど安心のセキュリティ機能(オプション)が充実

^{※2} 厚生労働省、経済産業省、総務省が定めた、医療情報を扱う医療機関および外部委託された情報処理事業者が遵守すべきルール。

(1)医療情報システムの安全管理に関するガイドライン(厚生労働省)、(2)医療情報を受託管理する情報処理事業者における安全管理ガイドライン(経済産業省)、(3)ASP・SaaS事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン(総務省)、(4)ASP・SaaSにおける情報セキュリティ対策ガイドライン(総務省)

(4) 提供料金

初期費用	:	5,000円(税抜)
月額利用料 1登録者につき ^{※3}	:	500円/月(税抜)

^{※3} ご契約者単位の登録患者数に応じた課金です。多職種の数は無制限です。

最低利用患者数は5患者からです。

(5) 提供開始日

2016年7月11日(月)より

■ 参考

本サービスは、国内最大級の保健医療福祉分野の展示会「国際モダンホスピタルショー2016」(2016年7月13日～15日)にNTTグループとして出展する予定です。